

議会だより

しろたか

2017年7月12日発行
(平成29年)

Vol.135

山形県白鷹町議会
6月定例会



「お日さまのあじがするね！」

ひがしね保育園 いちご狩り体験 12頁に関連記事

議員定数削減決まる ②p

農業者の所得向上 補正予算審議 ④p

・ここが聞きたい 一般質問3人の議員が町政を問う . . . ⑥p

・追跡 あの事業は今「誕生！紅（あか）ワイン」 . . . ⑬p

・「杉沢観音大わらじ奉納」 ⑭p

・インタビュー 【まちのドクター先生！】 ⑯p

から12人に 議員発議で

なり手不足の解消を目指す

削減の理由 急激な人口減少への対応

人口減少・少子高齢化などの社会情勢の急激な変化や、他議会の状況を踏まえ、議員の立候補者を確保するために議員報酬の引き上げなどの処遇改善を要望するとともに、議員自ら議員定数の削減を行い、議員の質の向上とともに議会の活性化を目指す。



各々が町全体の議員として、今まで以上に町民の方々の声に耳を傾ける必要がある。

定数削減により、町政に対する民意の反映に地域の格差が生じることが心配される。活発な議会運営に向けて議員の質がさらに問われることになる。

議員の質の向上

問われる

近隣または同等人口規模の各市町の議員定数

市町	人口	議員定数
米沢市	82,213	24
長井市	27,399	16
南陽市	31,945	17
高畠町	23,878	15
小国町	7,878	10
飯豊町	7,365	10
朝日町	7,169	12
川西町	15,703	15
山辺町	14,602	12
遊佐町	14,224	12
白鷹町	14,189	14

平成29年5月1日現在

その結果、議員のなり手を確保する手段の一つとして処遇を改善

平成27年に議会活性化特別委員会を設置し、議会活性化のための検討項目として『議員定数と議員報酬』について調査、検討を行った。その結果、議員のなり手を確保する手段の一つとして処遇を改善

※議会だより134号に記事を掲載

経過

6月 定例会

定例会は6月6日から14日までの9日間開催され、●平成29年度補正予算 ●人事案件13件 ●条例改正2件 ●議員発議による条例改正1件 ●町道の認定・廃止7件について審議し、原案のとおり可決しました。

●請願2件が提出され、1件を不採択、1件を継続審査としました。

一般質問は3議員が行い、町政全般について問いました。

議員定数

来期より14人

議員の質の向上と、

6月14日、「白鷹町議会議員定数条例」の改正案が、議会活性化特別委員会
小形輝雄委員長より提出され、賛成多数により可決されました。

次の一般選挙より、現在の議員定数14人から12人に削減されます。

5 頁に関連記事

賛成議員：今野・菅原・佐藤・奥山・田中・小形・小口・笹原・渡部各議員

反対議員：関・石川・佐々木各議員

(山田議員は欠席)



活性化の講議を受ける
議員たち

全国で2割が無投票当選 27年統一地方選挙、町村議選

全国で無投票選挙が増加傾向にある。平成27年4月の統一地方選挙では、町村議会議員選挙での無投票当選者の割合が全体の2割を超え、過去2番目の多さとなった。

平成27年4月の統一地方選挙、町村議会議員選挙の全国の結果		
立候補者総数	総定数	無投票当選
4832人	4269議席	930人 (22%)

山形県内の無投票選挙（平成27年度中に行われた市町村議会議員選挙）			
市町村名	投票日	定数（人）	立候補者数（人）
西川町	4月26日	10	10
朝日町	4月26日	12	12
飯豊町	7月22日	10	10
大石田町	11月 1日	10	10
鮭川村	11月15日	10	10

正算
補予

農業者の所得向上

質 疑



小規模農家に対する
支援も !!

質疑
園芸大規模団地支
援の目標は
委員 園芸大規模団
地事業における目標販
売額は。
当局 枝豆の色彩選
別機を導入し、作業の
効率化をはかる。現在
の販売額6200万円
を、4年後には1億円
となるよう目指す。

質疑
土地利用型作物産地パ
ワーアップ事業とは
委員 中山間地域の
土地利用型作物の収穫
に必要な農業機械の整
備の支援とあるが、そ
の内容は。
当局 白鷹町転作大
豆組合が取り組む予定
対象作物は、大豆とソ
バであり、汎用コンバ
インを導入するもの。

質疑
中丸池の復旧工事は
委員 道路河川災害
復旧費の1070万円
の内容は。
当局 過年度豪雨に
より、満砂状態の中丸
池の底樋（池の底の水
抜き栓）の改修と、で
きる限りの砂上げ工事
をするもの。



1億円を目指す枝豆

一般会計補正の主なもの

元気な農業経営による所得1.3倍

プロジェクト事業 123万円

地域農業をけん引する、競争力の高い農業経営
体を目指す方を支援するもの。

園芸大規模団地整備支援事業 2520万円

大規模な園芸団地づくりへの支援として、枝豆
色彩選別機整備を支援するもの。

土地利用型作物産地パワーアップ事業 324万円

中山間地域の土地利用型作物の収穫等に必要な
汎用コンバインの整備を支援するもの。

園芸大国やまがた産地育成支援事業 255万円

園芸農業に必要となるパイプハウス等の栽培施
設の整備を支援するもの。

町道維持補修費 2000万円

町道の維持補修工事費等の追加計上。

◆追分塔ノ前線、鳥越原線ほか

道路河川災害復旧事業費 1070万円

中丸池の底樋工事と土砂浚渫を行うもの。

**地区コミュニティセンター費
（分館施設整備費補助金） 424万円**

分館の修繕や解体、備品購入に対する補助。申
請数の増加見込みに基づく増額補正。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

平成29年度補正予算総括表

会 計 名	補正額	補正後の額
一 般 会 計	7782万円	94億7347万円
特別会計	後期高齢者医療 15万円	1億3362万円

※万円未満は端数を調整しています。

請 願

●「テロ等準備罪」法案の廃案を求める 意見書提出についての請願

請願者 西置賜革新懇話会
代表世話人 今泉義憲

審査結果 **継続審査**

●議員定数削減の見直しを求める請願

請願者 日本共産党白鷹支部
支部長 本木勝利

審査結果 **不採択** (賛成少数のため)

賛成討論

定数削減により、町民の意見が反映されにくくなる。また、議会機能そのものの弱体化も危惧される。定数は削減すべきではない。

条 例

●白鷹町議会議員定数条例の一部改正

今般の社会情勢等を勘案し、次の一般選挙から議員定数を12名とするもの。
賛成多数で可決

●白鷹町個人情報保護条例の一部改正

●白鷹町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

上記2件は全会一致で可決

人 事

●白鷹町固定資産評価審査委員会委員

千田良子氏(新任)及び江口信利氏(再任)を選任することに、全会一致で同意しました。

●白鷹町農業委員会委員

町長から提案のあった11名について、全会一致で同意しました。

5月11日 第4回臨時議会

平成29年度
補正予算

可 決

◎日本の紅（あか）をつくる町推進拠点施設整備事業 2億9331万円

紅花生産の推進等をはかるため、「(仮称)紅花ふれあい交流館」を整備する。紅花関連資料の展示や紅花染め体験等ができる施設であり、十王地区コミュニティセンターを兼ねるもの。



整備予定地



紅花生産日本一を維持するための施設利用を望む！

◎ヤナ公園整備事業 1億1334万円

観光推進のため、ヤナ本体の機能強化や、そば打ち体験等のできるキッチンスタジオの整備等を行うもの。



改修を待つヤナ場

◎財源は、国庫補助金、繰越金、過疎対策事業債で対応します。(※万円未満は端数調整しています。)

学校に洋式トイレとエアコンの増設を

町長 教職員や保護者の要望を伺い環境整備に努める



笹原俊一議員

学校の洋式トイレ、エアコンの増設を

問

学校の洋式トイレ設置状況は、

教育長

本町の小学校の洋式化率は27・9%で、

全国平均には至っていない。（全国は43・3%）

問

洋式トイレで育った世代が、和式に戸惑いガマンをしてしまうことは、学

業や健康面での心配もある。

洋式化の促進を望む。

教育長

洋式に慣れ、和式の

問

年々気温が上がり熱中症の危険度が高まる。エアコンの設置を進めるべきと考えるが。

教育長

PTAや校長会から、子どもや教職員の健康を守るため冷房設備拡充の要望がある。

今後は職員室などへの整備が完了次第、普通教室への設置について検討していく。

教員の時間外勤務の現状は

問

町として時間外勤務の現状を把握しているか。

教育長

残業時間は、各校長が毎月把握している。

小学校は多い学校で月平均60時間、中学校は80時間を超える教員もいる。

「部活動支援員制度」の活用を

問

国がスタートさせた「部活動支援員制度」は勤務時間短縮になる。活用の道を探ってはどうか。

教育長

一番の課題は人材の確保。

県でも今後研究を進める予定である。本町でも今後の検討課題として、先進事例なども含め情報収集していく。

あらゆる世代から

まちづくりのアイデアを

町長 発言しやすい雰囲気づくりに向け対応する

声を届ける機会を

問

まちづくり座談会の工夫と、若者や女性の声を町政に反映させる方策は。

町長

座談会は、参加者の固定化や女性・子育て世代などの参加が少ないのが現



すべてに全力投球・・・



町の教職員の勤務時間は、国が定める「過労死ライン」と同じである実態が明らかになった。子どもたちと向き合う時間をより多く確保するため、学校・地域・保護者の声を受け止め、施策に反映することを望む。

状態。今年度の開催に向けコミセンや区長会などから意見を伺いながら、発言しやすい雰囲気作りに向け対応していく。

西廻り幹線道路建設促進 運動を強化すべき

町長 期成同盟会に対し、継続的かつ強力な支援を行っていく

平成31年からの県の新たな道路計画に向け、長井白鷹間西廻り幹線道路実現に対する、町の今後の対応を問う

県への働きかけを強化すべきでは

問 県の新たな道路計画策定に向けて、関係機関への働きかけを強化すべきだが、町の取り組み方針は。

町長 重要な路線と認識し、要望活動を行ってきた。早期着工に向けた取り組みを加速させるため、建設促進期成同盟会に対し、継続的かつ強力な支援を行っていく。

高速道路30分圏域から外れているが

問 運動をするうえで、高速道路に30分で上がれない町であることを強調すべきでは。

町長 周辺の道路整備の状況を見ながら、どうしたら高速道路に早くたどり着けるかを把握した上で、次の手を打っていく必要があると認識している。

期成同盟会との関わりは

問 川西地域の民間で組織する、建設促進期成同盟会との関わりとして、具体的な活動は。

建設水道課長

同盟会が全町組織に拡充される検討が進んでおり、事務局機能を町が担い、新たな看板設置やチラシ配布、長井市組織との情報交換などに対して、今後も支援を継続していく。

町が中心となるべきでは

問 民間主体では大掛かりな運動を展開する上で苦慮する。町長が中心となり、行政が主体となつて進めるべきでは。

町長 民の力があってこゝまで来れたと思う。支援を継続しながら、民間としての組織体の中で進めて

いただくよう取り組んでいく。

長井市との連携は

問 長井市とはどのような形で関わっていくのか。

町長 長井市には複数の組織体があり、動向を見定めながら歩調を合わせる必要がある。

両市町とも、将来的には同盟会組織を一本化したいという考えを共有している。地域の思いを一つにして、事業の採択、具現化をはかっていく。



県の事業採択に向けての働きかけは、今後2年間で勝負時である。

長井市と連携しながら、町を中心として、期成同盟会での思いを尊重する形で、町民と行政、そして議会が一体となった、強力かつ活発な運動が展開されることを望む。



この先は・・・

(鮎貝駅前交差点)

観光客の誘致は、その拡大策は

町長 町内だけでなく、近隣市町とも連携し取り組む

新しい客を誘致する施設がある

問

観光4シーズン化や、紅花まつり、桜回廊などで多くの観光客を呼んでいる。他にも、観光客が増えている様々な施設や観光地がある。より観光客を増やすため、これらと連携するコースをつくり、アピールするべき。

町長

ここ数年の傾向として、少数旅行の形態に移行している。現状では、JR東日本と連携した「駅からハイキング」



石川重二議員

や、旅行エージェントと連携したトレッキングなど、幅広いコース設定をしている。フラワー長井線の利用による町内全体の周遊の促進にも取り組んでいる。

また、大きな経済効果を考慮し、町内のみの周遊だけではなく、近隣市町の観光地と連携したコース設定も重要と認識している。

今年度、観光協会の組織体制の強化を図るため、事務所を荒砥駅前交流施設に移転した。町観光協会や長井の「やまがた長井観光

局」とも連携し、魅力的な観光に向けた取り組みを進めていく。

施設維持管理に力を

問

白山森の夫婦観音などの各施設は、地区の方々などで維持管理しているが、高齢化等により管理が困難になってきている。町としても施設整備等に力を貸すべきでは。

町長

町内の観光施設には、町施設だけでなく、神社や風景・自然そのものなど幅広く存在している。これらを管理された方が、高齢化などで管理が困難となっている施設があると伺っている。

各地区においては、整備に取り組む目的や、地域づくり計画における位置づけを明確にして、地域住民の皆様の協力を得ながら、

維持管理する方策を見出していくことが重要と考える。
施設整備支援は、国の外国人観光客を推進するための補助事業もある。様々な要件があり、該当するか十分検討する必要があるが、ご相談いただきたい。



流しそうめん、んまいぞ！（のどか村）



地域の皆様と語り合いながら、確実に観光客を増やせるよう、地域活性化の努力を！

まちづくり複合施設

総額32億2000万円を超えないよう求む!

地元経済の活性化のため、地元業者参入を望む

6月6日、まちづくり複合施設等整備特別委員会が開催されました。

まちづくり複合施設等整備工事内容

工 事 名	工 事 内 容	工事年度
エネルギー棟新築工事	バイオマスボイラーを含むエネルギー施設の新築工事	H29
書庫棟新築工事	木造平屋の書庫の新築工事	
車庫棟新築工事	鉄骨造平屋の公用車等車庫の新築工事	
既存書庫曳き移転工事	今ある書庫を、別の場所に移動する工事	
分庁舎・既存書庫等解体工事	必要なくなった分庁舎や書庫を解体する工事	
まちづくり複合施設新築工事	木造2階建の複合施設本体の新築工事	H29・H30
施設整備に伴う造成・外構工事	上記の新築にともなう、敷地内の造成や外構工事	H29・H30・H31
既存施設解体工事	必要なくなった庁舎と中央公民館を解体する工事	H31

事業費は

委員 事業費が説明
されていない。

当局 予定価格は、
解体費用を除い

て24億100万円。総
額は32億2千万円で収
めたいと取り組む。た
だ、個別の積算が出し
にくく確定とは言えな
い。

地元業者参入は

委員 地元業者の参
入は。

当局 入札の条件に、
町内業者1社に
対して置賜管内業者が
1〜2社で※共同企業
体を作るようにとして
いる。

委員 将来的なメン
テナンスを考え
ると電気や機械の設備
は地元業者が入らない
と困るのではないか。
そういう条件やお願い
はしているか。

当局 議会からも指
摘があり、下請
けについてもできるだ
け地元企業の活用をお
願いしていく。

予算オーバー
にならない努力
を!

※共同企業体とは、一つ
の工事を施工する際に、
複数の企業が共同で工事
を受注し施工するための
組織。



有効活用を待つ町産材

議会の構成

5月1日の臨時議会で
議会の構成が次のよう
になりました。

議長 遠藤 幸一
副議長 小形 輝雄

(◎委員長・○副委員長)
総務厚生常任委員会

◎関千鶴子
○小口尚司

菅原隆男・佐々木誠司
佐藤京一・渡部善美
小形輝雄

産建文教常任委員会

◎田中孝
○山田仁

遠藤幸一・奥山勝吉
今野正明・笹原俊一
石川重二

議会運営委員会

◎今野正明
○関千鶴子

佐藤京一・小形輝雄
田中孝・笹原俊一

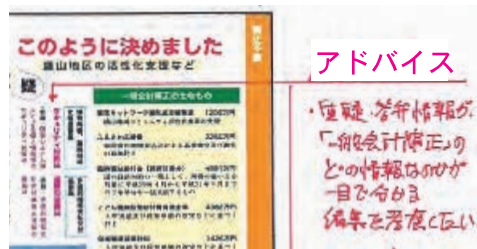
国民健康保険運営協議会
関千鶴子・奥山勝吉

議会広報研修

読んでもらえる議会だより

5月26日、山形市で「町村議会広報研修会」が開かれ、
白鷹町の議会だよりもアドバイスを受けた。

全委員がしっかり勉強して、町民の皆さんに読んでも
らえる広報づくりに努めます。



総務厚生常任委員会

健康で介護のいらぬ生活を

6月8日に委員会が開催され、元氣わくわく教室を
現地視察し、説明を受けた。

コミセンで介護予防

【目的】

支援や介護の必要がないのかたが、身近な
場所で定期的に運動に
取り組むことにより、
運動習慣を身に付け、
介護予防と健康寿命の
延伸をはかり、住み慣
れた地域で自立した生
活を送ることを目的に
実施する。

【対象者】

◇65歳以上のかた（支
援や介護の必要のない
かた）

【会場】

◇各地区コミュニティ
センター

【実施日程】

◇週1回実施

運動指導は、健康運
動指導士等の有資格者
が行う。



介護予防・日常生活 支援総合事業に ついて

介護保険法により、
市町村が中心となつて
事業を実施することと
なっている。本町でも、
平成29年4月1日から
介護予防・日常生活支
援総合事業がスタート
した。

地域の実情に応じて
地域の支え合いの体制
作りを推進し、また、
いつまでも元氣に暮ら
すために、介護予防の
取り組みを強化するも
のである。

質疑

男性の参加促進は

委員

男性の利用者
が少ないが、その対策
は。

ように、実際に体験す
るような場を設け、参
加を促したい。

当局

男性は、声掛
けしても、なかなか参
加してもらえない。良
いと実感してもらえる

その他
○平成30年度白鷹町重要事
業要望
○定住自立圏構想
などについて説明があった。



元氣わくわく教室（荒砥コミセン）

利用実績

コミュニティセンター	参加人数	男性参加人数
蚕桑地区コミセン	25人	2人
鮎貝地区コミセン	17人	0人
荒砥地区コミセン	12人	1人
十王地区コミセン	20人	0人
鷹山地区コミセン	8人	1人
東根地区コミセン	17人	4人
合 計	99人	8人

平成29年6月8日現在



健康寿命の延伸のため、参加
者の利用拡大が進む施策を！

産建文教常任委員会

荒砥橋関連事業の推進

6月9日に委員会が開催され、荒砥橋の今後の予定などについて説明を受けた。

平成32年度完成、開通を望む

【荒砥橋の概要】

50年以上経過した老朽橋であり、幅が狭いため大型車同士のすれ違いが困難で、朝夕の渋滞の原因になっている。

【関連工事】

- ①下水圧送管の移設
荒砥側橋台工事により、既設の圧送管を移設する必要があるため、一部仮設による迂回工事を行う。
- ②鮎貝中継ポンプ場移設
現在のポンプ場の場所が道路となるため、移設工事を行う。



橋脚の完成を待つ

町民の疑問

「なぜ中断に？」

気になる新荒砥橋工事

新荒砥橋は現在2つの橋脚が完成しています。水の少ない冬期間に工事を行うため、昨年の秋、さらに3つの橋脚に着手しました。しかし計画段階で判らなかった軟弱地盤が明らかに、工事を中断し、より安全のために基礎部分の設計変更を行っているようです。

町は早期の完成を求める要望を県に提出しており、県では32年度の開通に向けて、工事計画の調整を行い、早期発注の準備をしているようです。

集落排水の公共下水道への統合

白鷹町都市計画下水道及び白鷹町下水道事業計画の変更について説明を受けた。

平成28年度策定の
下水道事業経営戦略の具体化

【計画の主な事業】

- ◇荒砥橋架け替えに伴う鮎貝中継ポンプ場及び管路の移設
- ◇施設長寿命化事業
- ◇浅立、西高玉農業集落排水事業の公共下水道への統合

質疑

処理場はどうなる

委員 農業集落排水の処理場は、今後どうなるのか。

当局 統合により、公共下水道に繋ぎ、すべて荒砥の終末処理場で処理することになる。農業集落排水の処理場は、今後、公共下水道の管に圧送する中継ポンプ場として使用する。



町民負担の軽減を望む！

- その他
- 荒砥駅前交流施設改修工事
 - 町駅伝大会のコース変更などについて説明があった。

町民へのサービスのさらなる努力を！

パレス松風でのサロン



パレス松風
一般財団法人 白鷹町アルカディア財団
理事長 横澤 浩

◆事業報告

- ・平成28年度は中期利益計画の2年目という重要な年であった。
 - ・学校給食共同調理場の調理等業務を受託
 - ・健康づくりサロン事業の取り組み
 - ・冬のしらたかエクスカッション事業受託
- ※県外の観光関係者による観光視察・体験

◆収支状況

新規受託事業により収益増加があったが、宿泊・飲食関連事業の収益減少により、経常収益は合計3億4592万円、経常費用は合計3億4541万円となり、当期損益は税引後44万円の黒字となった。

(※万円未満は端数調整しています。)



収益事業における減少状況が見られる。公共施設の管理運営に関する事業での委託料のウェイトが大きい。

収益事業での収益の確保が課題！

◎平成28年度実績（前年比）

宿 泊・・・1万196人(364人減)
宴 会・・・2万1020人(1350人減)
レストラン・・・9462人(2728人増)
もりもりハウス・・・1656人(251人減)
入 湯・・・6万1194人(2532人減)
スポーツ施設・・・3万3358人(4456人増)

◎主な項目の売上金額

飲食売上・・・1億1663万円(824万円減)
商品売上・・・2166万円(434万円減)
宿泊売上・・・7712万円(557万円減)
入湯料収入・・・1369万円(197万円増)

◎委託料

委託料収入・・・1億373万円(1416万円増)

◎補助金

樹木管理事業補助金・・・7万円(増減なし)
※万円未満は端数調整しています。

職員を2名増員

(有)ケイエスしらたか
代表取締役 藤島 丈

◆平成28年度業務受注状況

白鷹町立病院
医療事務・調理業務
・事務宿日直・電算
保守等
訪問看護ステーション
医療事務
健康福祉課
保育ほか付帯業務

◆理事・職員数

理事2名(非常勤・無給)
職員31名
病院医療事務員 15名
電算管理 2名
病院施設管理 3名
病院調理師 8名
訪問看護医療事務員 1名
健康福祉課保育士 1名
健康福祉課調理師 1名

◆平成28年度決算

事業収益1億348万円
事業費用1億332万円
当期純利益 10万円
※万円未満は端数調整

表紙

いちご、
いただきます

ひがしね保育園
いちご狩り体験

5月17日、2歳児から年長児までの56人が、どろいむ農園の農産ハウスでいちご狩りを楽しみました。

粒が大きく、スツキリとした甘さのいちごで、品種名は『もういつこ』。名前のとおり、園児たちも「もう一個！」と大喜び。



追跡レポート

— あの事業は今? —

誕生！紅（あか）ワイン

白鷹山麓萩野産マスカット・ベリーA紅



日本の紅の赤ワイン登場。
750ml入240本醸造。
町内の酒販売店で取り扱い。



①伸び放題の桑の木

国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、地元の人たちが自らの手で再生。



②生育が順調なブドウ園

サントリーワインインターナショナルと連携したワイン用ブドウの圃場。マスカット・ベリーA、甲州。当初は20アール。



③増産

若い後継者等によるブドウ苗木の定植作業。栽培管理の確立と技術者の育成が進む。



④新ブドウ園3.4ヘクタールに拡大



農業を主体とした持続可能な地域づくりの地元グループと、ワイン醸造用ブドウの生産地を求めている企業とのマッチングが、地域の活性化の向上と雇用の拡大に貢献！これからの耕作放棄地の解消の取り組みには、企業とのマッチングが大切である。

これからの白鷹町独自の支援の充実が急務！

子どもたちが住み続けたくなる地域づくり



杉沢観音『大わらじ奉納』

8年ぶり 上杉沢地区

上杉沢地区に古くから祀られる杉沢観音堂に、長さ2メートルを超える大わらじが昔から奉納されています。これまで約10年ごとに取り替えられてきましたが、今年6月10日、11日の2日間、地域のお年寄りから小学生とボランティアなど約50人が集まり、8年ぶりの作り替えが行われました。

地域が大集合



古いわら打ち機、子どもたちは珍しいものにすぐに飛びつく



材料のわらは余分なクズを取り除く、けっこう根気のいる作業

それぞれに役割がある

わら細工は、若い衆にはほとんどが初めての仕事。力仕事や根気のいる作業、お昼ごはんの準備など、人それぞれに得意な分野と役割があるようです。

守りたい心を育む

子どもたちが、無意識のうちに、地域を守り、いつまでも地元に住み続けたいと思える心を育みます。



お昼の準備も最盛期。井戸端ネットワークもフル稼働中



数人掛かりでわら束に、よりをかけながら、大わらじを編み込む

地域の生きる力

地方創生。多くの支援策がありますが、補助金などには頼らない、伝統を伝える地域行事の中に、小さな集落が生き延びようとする力強さを見ました。



大勢が見守るなか、完成した大わらじは無事に奉納された



「いっぱい食べろなあ」

平成28年度政務活動費

全議員の使い道を公開



町のホームページで、
各議員の収支報告書と
領収書を公開していま
す。

各議員から提出された使途報告書に基づき公開します。

経 費	内 容
調査研究研修費	議員が行う調査研究に関する経費。議員が開催する研修会又は団体が開催する研修会へ参加するために要する経費。
資料購入作成費	議員が行う活動に必要な図書購入や作成に関する経費。
広報広聴費	議員が行う活動の報告又は広報に関する経費。
通信運搬事務費	議員が行う活動に必要な事務機器又は事務用品の購入並びに借上げなどの経費。
その他の経費	議員が行う活動に必要で、各項に規定する経費以外の経費。

	議員名	調査研究研修費 (例：セミナー受講料・研修旅費)	資料購入作成費 (例：新聞・地方議会人購読料・書籍)	広報広聴費 (例：議会報告印刷代)	通信運搬事務費 (例：プロバイダー接続1/2)	その他の経費	計 (うち政務活動費)
	遠藤 幸一		81,291		7,380		88,671 (60,000)
※	渡部 善美	37,600	19,716				57,316 (25,000)
	笹原 俊一	74,900	63,120	8,800			146,820 (60,000)
	佐々木誠司	62,400	90,100				152,500 (60,000)
	小口 尚司	37,900	92,376				130,276 (60,000)
	小形 輝雄	37,300	74,513				111,813 (60,000)
	田中 孝	24,800	47,900		7,380		80,080 (60,000)
	山田 仁	37,900	83,556	73,440			194,896 (60,000)
	奥山 勝吉	24,800	37,924				62,724 (60,000)
	石川 重二		88,920				88,920 (60,000)
	佐藤 京一	37,300	59,481		33,300		130,081 (60,000)
	菅原 隆男	37,300	45,654				82,954 (60,000)
	関 千鶴子		72,172				72,172 (60,000)
	今野 正明	37,300	93,211	77,112			207,623 (60,000)
※	樋口与一郎		32,832				32,832 (25,000)

◎政務活動費は、60,000円（月額5,000円）が交付されます。

（単位：円）

◎※印の議員については、年度途中の就任、辞職のため、5カ月分が交付されました。



新野 晃敏 先生
(鮎貝地区)

放っておくと
『命取り』に
なるよ

シリーズ

まちのドクター先生！

みんなを元気に！

新シリーズがスタートしました。町のドクターにお話を伺います。初回は新野先生です。

医師になるきっかけ

父の影響です。父は中国の満州鉄道病院の医師でした。私も満州で生まれ父の背中を見て育ちましたので、自然と医学の道に進んだのだと思います。

母に感謝

終戦直前、母は弟を背負い私と姉の手を引いてひと足先に帰郷しました。命がけで私たちを守ってくれた母に心から感謝しています。

ドイツに留学も

高校卒業後、日大医学部に入学。昭和48年に当時の西ドイツ・ゲーセン大学に3年間外科留学後、日大医学部で学生の指導・育成に当たり、その頃指導した学生の1人が、天皇陛下の執刀医を務めました。

専門は胸部外科

白鷹にいずれは帰るつもりでしたので、ケガなどの患者さんが一番多いのではないかと、思っ外科を選びました。

白鷹町の医療体制

白鷹町は人口の割には医療体制が充実しているのではないかと思います。得意分野を持つ先生方が頑張っておられるし病院への後方支援として医療連携も始まりました。

今後の課題は医師自体の高齢化と若い医師

の確保です。町出身の医療者には、ぜひ町で働いてもらいたいものです。

健康アドバイス

『たぶん大丈夫』は、禁物です！

内科・外科にかかわらず初期治療が大事です。体調がふだんと何か違うなと感じたら、迷わず受診してもらいたいと思います。『たぶん大丈夫』は禁物です。健康に常に気を配って、少しでも気になったらかかりつけ医を訪ねてください。

放っておくと『命取り』になってしまう場合もあります。



議会に期待すること

町民を代表している者として、行政のチェック機能をしっかりと果たしてもらいたいと思います。

また、町民は町政の詳細まではわかりづらいものです。

住民の声をしっかりと聴いて、町議は一人倍勉強をして『町民のための仕事』をしてください。



取材を終えて

お母様の話は感動しました。命を守る仕事に就かれた原点もここにあるのかと感じます。大事なアドバイスもいただきました。健康も政治も『たぶん大丈夫』は禁物であることをあらためて学びました。
(笹原)

編集後記

肌寒い日が続き、農作物への影響が心配されるなか開会された今定例会ですが、補正予算を見ると、営農の大規模化を目指す国の方針に合わせる形で、農業関連の追加が主なものとなりました。

しかし本町には、小さな耕運機と鍬1本を手には、田畑を精一杯耕すお年寄りが大勢おられることも忘れてはなりません。

今年から広報委員のメンバーが一部変わりましたが、定例会の結果をできるだけ早く伝えるために、これまでより約10日早い発行を試みました。委員一同、皆様の目線に立ち、よりわかりやすい議会報を目指します。
(佐々木)

広報委員

委員長 奥山 勝吉
副委員長・編集長 佐々木 誠司
委員 石川 重二
委員 笹原 俊一
委員 渡部 善美
印刷・(有)梅津印刷



発行責任者 白鷹町議会 議長 遠藤 幸一 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128

E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

